

## 日本学士院賞

| 受賞者     | 受賞年           | 受賞時の職名 | 受賞理由                             |
|---------|---------------|--------|----------------------------------|
| 今 裕     | 1934年 ※帝国学士院賞 | 教授     | 細胞の銀反応の研究                        |
| 白 土 博 樹 | 2022年         | 教授     | がんの動体追跡放射線治療・粒子線治療に関する医理工学<br>研究 |

## 紫綬褒章

| 受章者     | 受章年   | 受章時の職名 | 受章理由      |
|---------|-------|--------|-----------|
| 平 井 秀 松 | 1981年 | 教授     | 癌の免疫化学的研究 |
| 小 林 博   | 1990年 | 教授     | 病理学研究     |

## 全国発明表彰 恩賜発明賞

| 受賞者     | 受賞年    | 受賞時の職名 | 受賞理由             |
|---------|--------|--------|------------------|
| 白 土 博 樹 | 2017年度 | 教授     | 動体追跡粒子線がん治療装置の発明 |

## 文部科学大臣賞

| 受賞者     | 受賞年           | 受賞時の職名 | 受賞理由                                       |
|---------|---------------|--------|--|
| 白 土 博 樹 | 2015年度 (第13回) | 教授     | 動く腫瘍をピンポイントで狙う「4次元動体追跡型」陽子<br>線治療装置」の開発と普及 |

## 北海道科学技術賞

| 受賞者       | 受賞年           | 受賞時の職名       | 受賞理由  |
|-----------|---------------|--------------|---|
| 伊 藤 真 次   | 1967年度 (第8回)  | 教授           | 生体代謝調節機序等新分野の開拓                                     |
| 若 林 勝     | 1970年度 (第11回) | 教授           | ガン放射線治療法の新技術開発                                      |
| 高 桑 榮 松   | 1976年度 (第17回) | 教授           | 集中維持機能測定装置の開発を通じた道民福祉への貢献                           |
| 平 井 秀 松   | 1980年度 (第21回) | 教授           | α-フェトプロテインの実験的研究を通じた医療技術の発展<br>への貢献                 |
| 相 沢 幹     | 1987年度 (第28回) | 教授           | 国際的HLA学のパイオニアとして活躍し、医学分野にお<br>ける科学技術の発展に貢献          |
| 安 田 壽 一   | 1990年度 (第31回) | 教授           | 虚血性心疾患の早期発見等に尽力するなど医学の発展に貢献                         |
| 松 本 脩 三   | 1992年度 (第33回) | 教授           | 免疫不全症候群についての診断基準を作成するなど医学の<br>発展に貢献                 |
| 宮 崎 保     | 1992年度 (第33回) | 医学部附属<br>病院長 | 腫瘍細胞を抑制する方法での再発防止や免疫不全症の発症<br>回避に関する基礎の確立など医学の発展に貢献 |
| 大 里 外 譽 郎 | 1994年度 (第35回) | 教授           | ウイルスによるヒト発ガン機構の研究を通じた医学および<br>道民生活の向上に貢献            |
| 川 上 義 和   | 1997年度 (第38回) | 教授           | 在宅酸素療法の確立など医学の発展に貢献                                 |
| 吉 木 敬     | 2004年度 (第45回) | 名誉教授         | ヒトT細胞白血病ウイルスI型 (HTLV-I) 感染症のモデル<br>動物の開発と解析         |
| 三 浪 明 男   | 2008年度 (第49回) | 教授           | 上肢外科領域の基礎および臨床研究発展への貢献                              |
| 浅 香 正 博   | 2010年度 (第51回) | 教授           | わが国からの胃癌撲滅をめざした具体的方策の提唱                             |
| 瀬 谷 司     | 2013年度 (第54回) | 教授           | 新しいインターフェロン誘導経路の発見とそれを用いた抗<br>がん免疫アジュバントの開発         |
| 白 土 博 樹   | 2014年度 (第55回) | 教授           | 定位技術・動体追跡技術などを用いた高精度光子線・粒子<br>線治療の開発と臨床研究           |
| 西 村 正 治   | 2018年度 (第59回) | 名誉教授         | 慢性閉塞性肺疾患 (COPD) 研究に関する世界的貢献と本<br>邦における啓発活動          |
| 松 居 喜 郎   | 2019年度 (第60回) | 名誉教授         | 新しい重症心不全外科治療法の開発と北海道における心臓<br>移植再開                  |
| 清 水 宏     | 2020年度 (第61回) | 名誉教授         | 難治性先天性皮膚疾患に対する病態解明および新規治療法<br>の開発                   |
| 秋 田 弘 俊   | 2021年度 (第62回) | 教授           | コンパニオン診断によるがん個別化治療の開発とがんゲノ<br>ム医療の構築                |